

メールによるコミュニケーション

大項目	携帯電話全般
小項目	メールによるコミュニケーション
タイトル	メールによるコミュニケーション～携帯電話に振り回されて、不健康になっていませんか～
ねらい	電子メールによるコミュニケーションの特徴や問題点を知り、よりよい利用方法を身に付ける。
作成の意図	<p>携帯電話によるコミュニケーションをとる上で、「友人とのメールが終えられない」、「電源を切りたいことが伝えられない」という悩みをもつ生徒が多い。自分からメールを終えることで、相手をもつ感情に不安を感じるからである。また、すぐに返信しないといけないとか、食事中もかまわず返信するとか、携帯に振り回されて、日常生活や心と体の健康にも支障が出るケースが起こっている。</p> <p>そこで、携帯電話によるコミュニケーションの特徴を理解させ、楽しくコミュニケーションするための道具である携帯電話に振り回されず、賢く使いこなす方法を考えさせる。</p>
指導内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ケータイ依存について ・メールによるコミュニケーションの特徴について ・携帯電話を賢く使いこなす方法について
展開例	<p>(1) 情報モラル啓発資料を配付する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、携帯電話を所有していない者も、これから所有し利用する可能性が高いので、一緒に考えさせるようにする。 ・「ケータイ依存症」という言葉を聞いたことがあるか発問する。 ・挙手により確認する。どんな状態か知っている者がいる場合は、発表させる。 <p>(2) イラストを見ながら、ケータイ依存症の実態を理解させる。</p> <p>①「ケータイ依存症」とは、携帯電話のことが気になり、日常生活や心や体の健康に支障が出る状態であることを説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事例を示す。 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>1. メールが届くと、すぐに返信しないといけないと思ってしまう。</p> <p>2. 食事中もかまわず携帯電話を操作してしまう。</p> <p>3. 夜遅くまでメールのやり取りが終わらない。</p> <p>4. 常に携帯電話を持ち歩いていなければ落ち着かない。</p> </div> <p>②自分がケータイ依存症になっていないか確認させる。</p> <p>(3) メールによるコミュニケーションの特徴について考えさせる。</p> <p>①メールによるコミュニケーションは、相手の表情や口調、機嫌の良し悪しは伝わらないので、誤解が生じやすいということを理解させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〈検証〉を見ながら、直接会って話すこととメールの違いを説明する。 <p>②相手の立場になって考え、会って話す以上に思いやりのあるコミュニケーションが必要であることを理解させる。</p> <p>(4) 携帯電話に振り回されず、楽しくコミュニケーションするための賢い利用の仕方を考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・携帯電話の振り回されないためにも、使う時間やルールを決めて利用するようにさせる。 ・メールは、電話ほど急ぎの用事ではないが、伝えておきたいことがある時に使い、受け取る側も自分の都合の良い時間に確認すれば良い。「すぐに返信しなくてはいけない」とか、「3分以内に返信が来ないとイライラしたり、嫌われてるんじゃないかと不安になったりする」など、独自のルールに縛られないようにさせる。 ・相手の状況を考えたり、相手の気持ちに配慮したメールのやり取りが、正しい使い方であることを理解させる。